



## 平成27年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年9月30日

上場会社名 株式会社 パイプドビッツ 上場取引所 東  
 コード番号 3831 URL http://www.pi-pe.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 佐谷 宣昭  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 大屋 重幸 TEL 03-5575-6601  
 四半期報告書提出予定日 平成26年10月14日 配当支払開始予定日 平成26年11月11日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有  
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年2月期第2四半期の連結業績（平成26年3月1日～平成26年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第2四半期	1,512	25.6	305	37.7	304	35.8	176	29.5
26年2月期第2四半期	1,204	—	222	—	224	—	136	—

(注) 包括利益 27年2月期第2四半期 175百万円 (28.6%) 26年2月期第2四半期 136百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第2四半期	22.56	21.92
26年2月期第2四半期	18.04	18.01

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年2月期第2四半期	3,093	2,478	80.1	308.88
26年2月期	2,643	2,060	77.8	271.44

(参考) 自己資本 27年2月期第2四半期 2,476百万円 26年2月期 2,055百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	0.00	—	13.00	13.00
27年2月期	—	7.00	—	—	—
27年2月期(予想)	—	—	—	9.00	16.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成27年2月期の連結業績予想（平成26年3月1日～平成27年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,200	27.1	700	23.9	700	23.7	420	22.6	53.86

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年2月期2Q	8,018,780株	26年2月期	7,572,000株
② 期末自己株式数	27年2月期2Q	116株	26年2月期	116株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年2月期2Q	7,830,257株	26年2月期2Q	7,564,954株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済状況は、政府の経済政策や日本銀行による金融緩和の効果により企業収益は改善し、緩やかな回復基調が続いておりますが、世界経済の下振れリスクや消費税増税に伴う景気の停滞が懸念されるなど、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

インターネット業界においては、総務省の平成25年「通信利用動向調査」によると、クラウドサービスを利用している企業の割合は、33.1%と前年度の利用企業割合から4.9ポイント上昇しております。なかでも、資本金50億円以上では58.2%と前年度の利用企業割合から5.4ポイント上昇しており、急速に普及が進んでおります。

当社グループでは、クラウドサービスの市場拡大やスマートフォンの普及拡大といった、当社グループにとって追い風とも言える事業環境を背景に、将来の収益貢献を見据えた人材の積極採用を行うとともに、業種又はサービス間の相乗効果を発揮しやすい営業組織体制の見直しを行い、また、一部事業についてカンパニー制を採用するなど、機動力を重視する体制にすることで、クライアントへ提案するソリューションの質的向上とアップセルをはかってまいりました。

当第2四半期連結累計期間の主な活動としては、平成26年3月14日付でASP/SaaS型コールセンタープラットフォームサービス「BizBase」の開発及び提供をしている株式会社アズベイス（以下、「アズベイス」という。）を簡易株式交換により完全子会社化し、連結の範囲に含めております。今回の簡易株式交換によるグループ会社化をとおして、当社グループが提供する情報資産プラットフォームとしてのサービス拡充が期待できます。

平成26年5月20日には、東京証券取引所第一部へ上場市場を変更いたしました。東京証券取引所第一部への市場変更による会社の信用力とブランド力の向上を背景に、さらなる事業の創出、育成、発展をとおして業績の拡大を目指してまいります。なお、市場変更による手数料等として24百万円が一時費用として発生いたしました。

また、当第2四半期連結累計期間に、今後の成長を見据え、あらたに52名の人材採用を行い、これによる一時的な採用コストとして26百万円が発生しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は1,512百万円（前年同期比25.6%増）、営業利益は305百万円（同37.7%増）、四半期純利益は176百万円（同29.5%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

## ①情報資産プラットフォーム事業

当第2四半期連結累計期間の活動の内、情報資産プラットフォーム事業の主な活動は以下のとおりです。

## i) 「スパイラル(R)」

平成26年5月にクラウドサービスのセキュリティに特化した認証である「STAR認証」を日本企業として初めて取得いたしました。また、製薬メーカーや医療機器/材料メーカーを対象として、「透明性ガイドライン」の個別開示に2段階認証で対応できる「透明性ガイドライン情報公開システム」を提供開始いたしました。今後も常時、安定稼働するサービスはもとより、サービスのセキュリティ強化を継続的に推進し、お客様により安心してお使いいただける質の高いサービス提供に努めてまいります。この結果、「スパイラル(R)」の有効アカウント数は3,183件となりました。

## ii) アパレル特化型ECプラットフォーム「スパイラルEC(R)」

既存顧客の要望に応じた機能強化やセキュリティ強化の機能改善を行なってまいりました。今後は決済機能の強化やスパイラル(R)との連携を視野に、より販売活動を促進できる機能強化を行なってまいります。この結果、「スパイラルEC(R)」の有効アカウント数は54件となりました。

## iii) 会計クラウド「ネットde会計(R)」 「ネットde青色申告(R)」

新消費税率への対応及び消費税率一括変換機能、日計表機能の拡充、ジャパンネット銀行と普通預金口座の取引明細データ連携機能などの新機能を追加してまいりました。今後も使いやすいシステムを提供できるよう機能改善等を継続的に行っていくとともに、当社の強みの一つであるサポートを重視したサービス展開をはかってまいります。この結果、「ネットde会計(R)」 「ネットde青色申告(R)」の有効アカウント数は1,777件となりました。

## iv) クラウド型グループウェア×CMS×SNS連携プラットフォーム「スパイラルスペース(R)」

グループウェアの機能強化として、外部サービスとの連携を強化するとともに、CMS機能の強化を実施し、利便性の向上をはかってまいりました。今後も、さらなる機能強化をはかりながら、契約数の増加を推し進めてまいります。この結果、「スパイラルスペース(R)」の有効アカウント数は5,061件となりました。

## v) その他の情報資産プラットフォーム

その他の情報資産プラットフォームとしては、薬剤・医療材料の共同購入プラットフォーム「JoyPla(R)」、美容師とお客様のヘアカルテ共有サービス「美歴(R)」、地域密着型SNS「I LOVE 下北沢」、政治・選挙プラットフォーム「政治山(R)」、BIM建築情報プラットフォーム「ArchiSymphony(R)」、コールセンタープラットフォームサービス「BizBase」などがあります。

この内、「I LOVE 下北沢」では、他社と協力し積極的にイベントを行なっておりまいた。iPhone及びAndroid向けアプリ「下北沢 Love Collection」のさらなるバージョンアップをはかりながら、アプリと連動したイベントをとおして、認知度向上と普及につとめてまいります。

「ArchiSymphony(R)」では、平成26年3月に国土交通省から「BIMガイドライン」が発表されるなど、今後急速に普及が進むとみられる環境のなかで、ゼネコンや設計事務所におけるBIM活用のニーズが高まっており、さらなる業容拡大に向けて、バージョンアップに向けた開発をすすめるとともに、人材採用による体制強化をはかってまいります。

「BizBase」は、第1四半期連結累計期間より連結子会社となった株式会社アズベイスで提供しているコールセンタープラットフォームサービスです。IP-PBX、CTI、CRM、通話録音を一括して提供することでコールセンター運営に必要な機能をオールインワンで提供しております。今後は、「スパイラル(R)」と連携したクラウド型サービスの普及促進に向けて人材採用等による体制強化をはかってまいります。

その他の実績としては、第三者機関として「AKB48 37thシングル選抜総選挙」のシリアルナンバー投票システムの構築・提供及び各チャネルからの投票結果の集計を行い、公正な選挙運営を支援いたしました。

これらの結果、情報資産プラットフォーム事業の売上高は1,272百万円(前年同期比23.9%増)、営業利益は298百万円(同29.0%増)、有効アカウント数は10,579件となりました。

## ②広告事業

広告事業は、主に(1)クライアントのサービス認知度の向上、Webサイトへの集客、ブランド力向上等マーケティング支援を目的としたインターネット広告の代理販売、(2)自社で運営するメディア媒体における広告販売、(3)アフィリエイトASP一括管理サービス「スパイラルアフィリエイト(R)」の販売などを行っております。

「2013年(平成25年)日本の広告費」(株式会社電通調べ)によると、平成25年の総広告費5兆9,762億円の内、インターネット広告市場は9,381億円(前年比108.1%)と推定され、継続して市場規模が拡大しております。このような環境のもと、当社ではクライアントへの更なる付加価値の向上を目的に、主力サービスである「スパイラルアフィリエイト(R)」の商品力や体制の強化をはかりながら、情報資産プラットフォーム事業と連携の強化を継続的に進めてまいります。

これらの結果、広告事業の売上高は70百万円(前年同期比39.4%増)、営業利益は7百万円(前年同期は営業損失12百万円)、有効アカウント数は239件となりました。

なお、当社は、広告事業の売上高については、広告枠の仕入高を売上高から控除する純額で表示(ネット表示)しており、広告枠の仕入高控除前の総額で表示(グロス表示)した場合の売上高は793百万円となります。

## ③ソリューション事業

ソリューション事業は、主に(1)インターネット広告の制作業務やWebシステムの開発業務の請負、(2)アパレル・ファッションに特化したECサイトの構築及び運営受託、(3)子会社であるペーパーレススタジオジャパン株式会社が提供するBIM導入コンサル事業、BIM製作受託事業などを行っております。

平成26年4月23日付にて、五洋建設株式会社とBIM推進に関する業務提携に合意いたしました。本合意により、国内特有の契約形態や設計、施工案件におけるBIMコンストラクションマネジメント推進を目指すとともに、複数部門がBIMデータを一元的に利用して効率的にプロジェクトを遂行できるような標準仕様をまとめあげ、ツール化してまいります。

また、平成26年6月1日付でオムニチャネル実践研究所を立ち上げ、お客様とともにオムニチャネル施策を実践、検証し、顧客拡大、購買促進を目指した活動に取り組んでまいります。

これらの結果、ソリューション事業の売上高は169百万円(前年同期比33.5%増)、営業利益は0百万円(前年同期比99.5%減)、有効アカウント数は80件となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態の分析

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ450百万円増加し、3,093百万円となりました。これは主に、現金及び預金の増加202百万円、設備投資による有形固定資産の増加23百万円、簡易株式交換による株式会社アズベイスの完全子会社化によるのれんの増加170百万円、差入保証金の増加13百万円によるものです。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末比で32百万円増加し、615百万円となりました。これは主に、未払金の増加4百万円、未払費用の増加14百万円、未払消費税等の増加17百万円によるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末比で417百万円増加し、2,478百万円となりました。これは主に、株式会社アズベイスとの簡易株式交換のための新株の発行や新株予約権の行使による資本金の増加181百万円、資本剰余金の増加161百万円、利益剰余金の増加77百万円によるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ202百万円増加し、1,662百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果得られた資金は、259百万円(前年同期は155百万円の収入)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益の計上306百万円、減価償却費75百万円、売上債権の減少額10百万円、未払金の増加額5百万円、法人税等の支払額160百万円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果支出した資金は、36百万円(前年同期は34百万円の支出)となりました。これは、有形固定資産の取得による支出26百万円、無形固定資産の取得による支出52百万円、貸付金の回収による収入32百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入21百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果支出した資金は、20百万円(前年同期は0百万円の収入)となりました。これは主に、ストックオプションの行使による収入62百万円、配当金の支払額83百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、業績について堅調に推移しておりますが、国内外の経済環境や景気動向に不安材料が存在しているため、平成26年3月31日に公表いたしました平成27年2月期通期の業績予想に修正はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第2四半期連結累計期間より、簡易株式交換により株式を取得した株式会社アズベイスを連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,459,337	1,662,220
売掛金	567,650	579,947
たな卸資産	2,167	2,334
その他	132,910	129,322
貸倒引当金	△5,098	△5,770
流動資産合計	2,156,967	2,368,053
固定資産		
有形固定資産	52,118	75,635
無形固定資産		
のれん	64,008	234,651
その他	234,364	257,436
無形固定資産合計	298,372	492,088
投資その他の資産		
差入保証金	122,983	136,224
その他	15,554	24,510
貸倒引当金	△2,986	△2,915
投資その他の資産合計	135,551	157,819
固定資産合計	486,043	725,543
資産合計	2,643,010	3,093,597
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	7	9
未払金	250,728	255,670
未払費用	27,486	42,400
未払法人税等	158,053	124,433
未払消費税等	30,900	47,914
賞与引当金	76,554	81,881
その他	38,819	62,919
流動負債合計	582,550	615,230
負債合計	582,550	615,230
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	316,093	498,075
資本剰余金	226,093	387,655
利益剰余金	1,513,147	1,591,063
自己株式	△27	△27
株主資本合計	2,055,307	2,476,767
新株予約権	3,440	1,313
少数株主持分	1,712	286
純資産合計	2,060,460	2,478,366
負債純資産合計	2,643,010	3,093,597

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
売上高	1,204,201	1,512,576
売上原価	255,758	342,008
売上総利益	948,443	1,170,568
販売費及び一般管理費	726,328	864,732
営業利益	222,115	305,835
営業外収益		
受取利息	1,113	651
助成金収入	868	-
その他	411	564
営業外収益合計	2,393	1,216
営業外費用		
支払手数料	-	2,126
その他	19	-
営業外費用合計	19	2,126
経常利益	224,489	304,925
特別利益		
新株予約権戻入益	130	1,818
特別利益合計	130	1,818
特別損失		
固定資産除却損	-	22
特別損失合計	-	22
税金等調整前四半期純利益	224,619	306,720
法人税、住民税及び事業税	84,763	126,852
法人税等調整額	3,549	4,609
法人税等合計	88,312	131,462
少数株主損益調整前四半期純利益	136,306	175,258
少数株主損失(△)	△143	△1,426
四半期純利益	136,450	176,685



(四半期連結包括利益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	136,306	175,258
四半期包括利益	136,306	175,258
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	136,450	176,685
少数株主に係る四半期包括利益	△143	△1,426

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	224,619	306,720
減価償却費	44,726	75,156
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,565	600
賞与引当金の増減額(△は減少)	3,630	4,451
受取利息及び受取配当金	△1,113	△770
売上債権の増減額(△は増加)	△38,904	10,915
たな卸資産の増減額(△は増加)	4,214	△166
仕入債務の増減額(△は減少)	△131	△6,491
未払消費税等の増減額(△は減少)	△9,936	15,628
未払金の増減額(△は減少)	15,334	5,529
その他	18,318	7,395
小計	262,322	418,971
利息及び配当金の受取額	1,102	876
法人税等の支払額	△107,721	△160,248
営業活動によるキャッシュ・フロー	155,703	259,599
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△8,771	△26,298
有形固定資産の売却による収入	-	700
無形固定資産の取得による支出	△47,263	△52,793
貸付けによる支出	-	△12,662
貸付金の回収による収入	21,805	32,404
敷金及び保証金の差入による支出	△100	-
敷金及び保証金の回収による収入	84	-
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	-	21,988
投資活動によるキャッシュ・フロー	△34,245	△36,660
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
新株予約権の発行による収入	-	785
ストックオプションの行使による収入	27	62,870
配当金の支払額	-	△83,711
財務活動によるキャッシュ・フロー	27	△20,054
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	121,485	202,883
現金及び現金同等物の期首残高	1,138,336	1,459,337
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,259,821	1,662,220

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成26年3月14日を効力発生日とした株式会社アズベイスを完全子会社とする簡易株式交換に際し、あらたに普通株式を発行し割当交付いたしました。これに伴い、資本金150,000千円、資本準備金129,579千円が増加いたしました。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年8月31日)

(1) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	情報資産 プラットフォーム 事業	広告事業	ソリューション事業	計	
売上高					
外部顧客への売上高	1,026,507	50,907	126,787	1,204,201	1,204,201
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,026,507	50,907	126,787	1,204,201	1,204,201
セグメント利益又は セグメント損失(△)	231,203	△12,655	3,567	222,115	222,115

(注) セグメント利益又はセグメント損失の合計額は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(2) 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(3) 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年3月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

当該変更に伴うセグメント損益に与える影響額は軽微であります。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年3月1日至平成26年8月31日)

## (1) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	情報資産 プラットフォーム 事業	広告事業	ソリューション事業	計	
売上高					
外部顧客への売上高	1,272,265	70,989	169,321	1,512,576	1,512,576
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	1,272,265	70,989	169,321	1,512,576	1,512,576
セグメント利益	298,247	7,571	16	305,835	305,835

(注) セグメント利益の合計額は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## (2) 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第2四半期連結累計期間に「情報資産プラットフォーム事業」セグメントにおいて、簡易株式交換により株式会社アズベイスを完全子会社化したことにより、のれんが204,058千円発生しております。

## (3) 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。